



**「掛川深蒸し抹茶」は
いかがですか**

Q 加工用を中心として抹茶需要が伸びる現状を踏まえ、新たに「かぶせ」を始める農家への支援、加工品メーカーや飲料メーカーへのトップセールス、有機茶専門の新たな共同工場の設置について市の見解を伺う。

A **積極的に支援をしていく**
かぶせ茶の需要の高まりを受け、平成29年度から予算措置し、被覆茶生産に取り組み農家の支援をしています。
メーカーへの売り込みについては、掛川茶の利用を検討したい等の情報収集に努めるとともに、情報があった場合には、茶商組合や農協に繋がっています。
また、有機茶専門の茶工場を整備する取り組みには、関係機関とも連携し、積極的に支援をしていきます。

**更なる障がい児(者)への
支援策の充実を**

Q 医療的ケア児や重症心身障がい児を受け入れられるショートステイ施設の整備、障がい者雇用率のさらなる引き上げに向けて、市はどのような施策を考えているのか。

A **障害福祉計画に沿った取り組みをしていく**
高齢者施設で障がいのある方を受け入れるサービスの推進、また医療的ケアが必要な方を病院で短期間受け入れる事業の活用など、障害福祉計画に沿った取り組みをしていきます。
働く場所の確保は行政の最大の責任と考え、今後も新規就労500人サポート事業のような事業を積極的に展開していきます。

【その他の質問事項】
・森林保護・木材利用の促進策について



しごとを生み出すイノベーション(技術革新)支援は

Q 新規起業家の支援体制として、創業支援窓口が開設されている。平成31年度の特定期間認定件数KPI(重要業績評価指数)は10件である。窓口開設の成果と課題を伺う。

A **創業の夢が実現するよう支援していく**
KPIの項目に該当する土、日曜日の相談窓口における創業者数は、初年度の27年度が3件、平成28年度が3件、平成29年度が2件となっており、目標には届いていません。今後は休日相談ができることを積極的にPRし、創業件数を増やしていきます。
事業の構想、事業計画の作成、融資等の資金調達の検討など創業までには長い期間を要しますので、今後も、各支

援機関との連携を図りながら、相談者の創業の夢が実現するように支援していきます。

開設20年余となる連雀出張所の存続は

Q 監査委員から昨年度の予算と事務事業の監査報告及び意見があり、戸籍や各種証明書のコンビニ交付の利用率向上と、連雀出張所廃止の検討に言及した。出張所廃止について市長の見解を伺う。



連雀出張所

A **総合的に検討していく**
現在、コンビニで交付できる証明などの拡大を含め、係る費用や効果、出張所の現状についての調査・分析を進め、諸課題の洗い出しなどを行っています。引き続き、市民サービス全体の向上及び効率化の観点から、総合的に検討していきます。